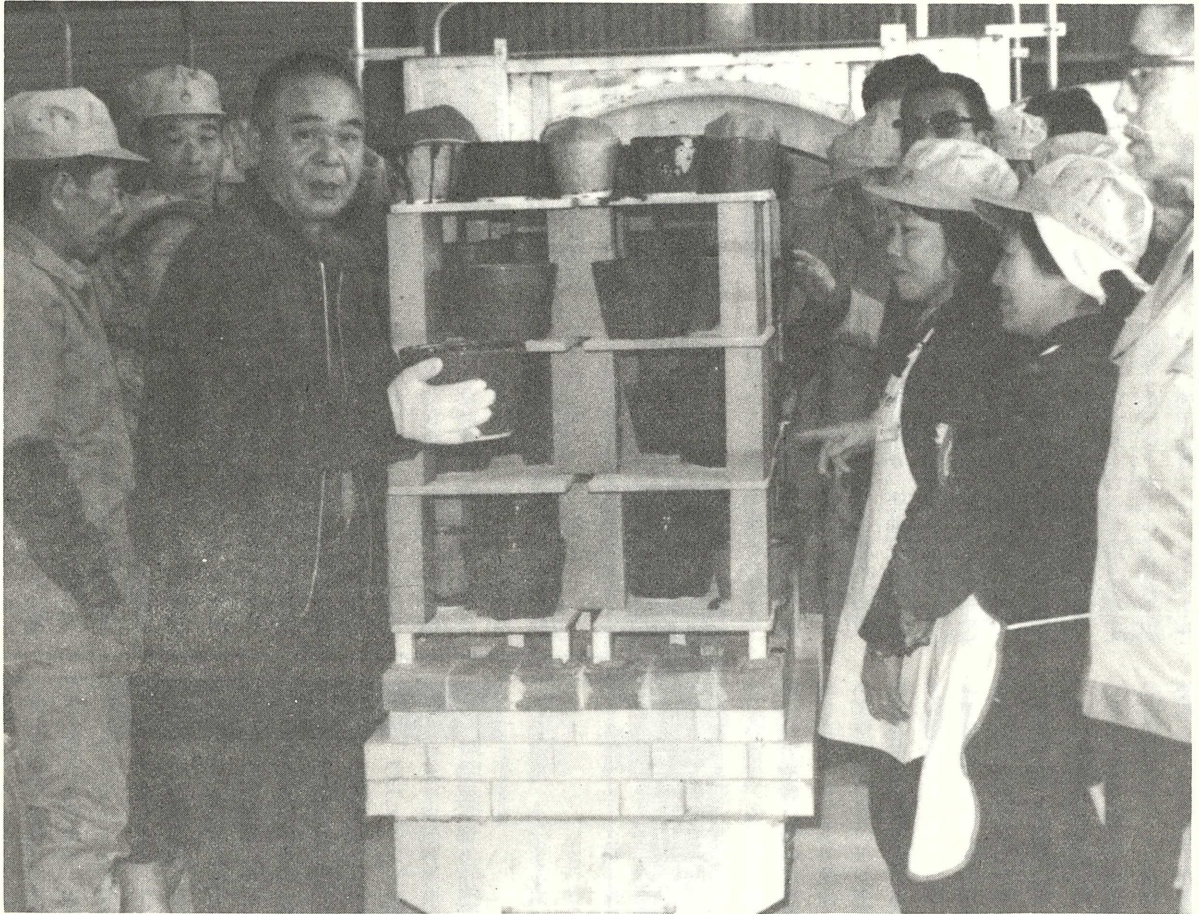


広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口	
人口	9,472人 (増20)
男	4,526人 (増12)
女	4,946人 (増8)
世帯数	2,955世帯 (増3)
出生 13人	転入 42人
死亡 7人	転出 28人
(54年1月末日現在)	

()内は前月との増減



(一立米窯の第1回目の仕上げ製品を取り出す赤池連協・小松徹会長)

54年
3月
 №194号

まず上々の出来上がり

上野焼大型共同作業場
 上野焼の特色を生かした製品ズラリ

昨年12月5日、本町天郷地区に完成した「上野焼大型共同作業場」は、現在、訓練生50人でスタートしていますが、2月14日、初めての製品が一立米窯から赤池連協小松徹会長より取り出され、まず上々の製品の出来上がりとあって今後に期待がもたれています。同作業場は、地場産業の上野焼の特色を生かした陶板タイルを生産するほか、訓練生の将来の独立に備え、茶器や花器、つぼなどを作るよう、陶芸の基礎技術を身につけさせるため、県から委嘱された指導員が訓練生の指導にあたっています。



体協、この一年の反省

体協会長 池田利文

昭和四十八年、赤池町体協がその組織と運営を抜本的に改め、住民と住民団体との連携を求めつつ新発足して五年が経過しました。その間、体育、スポーツ活動は年々めざましく活発化しています。これは、ひとえに住民諸団体の積極的な協力によるものと感謝しております。

さて、今後の一層の躍進を期すために、五十三年度の体協活動をふりかえってみると、大別して

二つの問題点が指摘されます。その一つは、団体としての体協にどんな問題があるか。もう一つは住民および住民団体の側にある問題点があるのか、であります。第一の点では、町内で催されている体育、スポーツ活動の殆んど

が体協主催で行われていますが、本間に体協が主催団体にふさわしい主体性をもってきたか、という反省であります。まだまだ活動の計画、運営、実施の面で行政依存

の傾向が多分にあることを卒直に認めざるを得ません。ここに体協の新発足前とその後をみると、活動の量と質に大きな差違があるのは、行政主導型の振興と住民主導型の差違であるということが出来ます。

住民主導の体育振興をはかる体協は、現状を把握しながら各種団体、とくに地区公民館との連携を密に保つ必要があります。そして現在の競技中心の各種大会を住民サイトに民主的、組織的に日常活動の場に移す方向に努力すべきです。そのためのプランやプログラムの再検討も今後の課題として提起されます。(以下次号)

だんぜんトツプの「体育活動」

主要な問題点

盛んな体育活動

総体的には、公民館が基本的な方針とする「体育・文化活動を土台とし、住民および住民団体の主体性を確立し、住民の生活課題、地域課題解決に必要な学習を展開する」基盤培養は、一応その目的を果しつつあります。とくに体育活動の振興は著しく促進されつつあり、そのうえ、五十三年十月の総合グラウンドの建設による施設条件の改善によって、より一層拍

車がかかるものと予測されます。従って、今後は住民結果の施策を継続しつつ、地区公民館をはじめとする住民諸団体の組織と運営を整備発展させ、活動の分野を拡大して新しい学習課題を提起していくべきであろうと考えます。

熱心な指導者の努力

バドミントンの急速な普及による利用の増大がもたらしたものです。回数こそバレーボールより若干少いが、利用人員ではバレーボールを抜き、剣道に次いで第二位とな

つています。この点は競技そのものの魅力や誰にでもできるという親しみやすさもありますが、何となくバドミントン部指導者の熱心な努力に負うところが大きいようです。

剣道は、中心となる指導者が負傷、長期入院といった不幸に見舞われながらも、開館以来のベールを守つたのは立派というべきです。パンク寸前の大ホール

スポーツ少年団員募集

町公民館では、町内の青少年健全育成のため、次のとおりスポーツ少年団員を募集します。申込みは所定の用紙で町公民館へ、締切りは三月末日。

- 野球部 小三〜小六の男子のみ。
- 剣道部 小一〜中三の男女。
- バドミントン部 小三〜中三の男女。
- 空手部 小三〜小六の男女。
- 柔道部 小三〜小六の男子のみ。

▼「人間の身体って、思ったより丈夫にできているものです。チビで、やせっぽいで、劣等感のかたまりみたいな私でしたが、人生が楽しくなり物の見方まですべて変りました」と語つたのは、三十三歳の家庭の主婦で走りはじめ、三十八歳の七十四年にポストン・マラソンに見事優勝。七十六年ニューヨーク・マラソンに優勝。一昨年の七十七年にはポストンとニューヨークにそれぞれ二度目の優勝をしたゴーマン・美智子さんという米人の奥さんになつている日本女性の言葉。

▼「日本の女性の方々も、一つのこと打ちこみ、自主性を持つためにランニングを利用してください。手軽で、闘う自信をつけ、スタイルをよくし、健康にも役立ちます。私も昔みたい記録にがつがつせず、生活のバランスを考えながら、楽しく一生走り続けま

▼日本女性マラソン大会の企画指導のため来日した四十三歳の彼女は、「今でも午前中、必ず走りまします。もちろん、育児、家事が優先しますが」と控へ目に語る。彼女のこの短かい言葉の中には、スポーツの極意が語られている。そして、その背後には多くの汗と努力と強烈な意志が読みとれる。赤池の奥さん方、いかがですか。

町民会館の利用状況

53年の調査とその分析

延べ37,522人がつどう

昭和53年 町民会館利用状況調 (総括)

目的別区分	回数		人員	
	延回数	率%	延人員	率%
生花	28	0.07	344	0.09
茶室	25	0.07	549	0.15
料理	18	0.05	1,091	0.29
老人大学	13	0.04	821	0.22
計	84	0.23	2,605	0.07
道	182	0.49	5,772	0.15
バドミントン	159	0.43	3,397	0.09
バレーボール	222	0.60	3,391	0.09
体協関係	50	0.14	830	0.02
体協指導員	13	0.04	151	0.00
計	586	1.59	14,441	0.39
講義	45	0.12	1,165	0.03
真実	11	0.03	119	0.00
八楽	38	0.10	195	0.00
吟詠	51	0.14	298	0.00
詠歌	29	0.08	389	0.01
音楽	1	0.00	40	0.00
十夜	4	0.01	41	0.00
四季	5	0.01	79	0.00
計	244	0.65	2,356	0.06
地区公民館	47	0.13	768	0.02
町公民館	20	0.06	1,370	0.04
町公民館	22	0.06	1,251	0.03
計	89	0.24	3,389	0.09
教育委員会	33	0.09	1,744	0.05
学校関係	17	0.05	975	0.03
計	50	0.14	2,719	0.07
町職工	42	0.11	1,002	0.03
防衛	7	0.02	1,210	0.03
防衛	1	0.00	60	0.00
防衛	32	0.09	933	0.03
防衛	15	0.04	532	0.01
防衛	18	0.05	523	0.01
防衛	14	0.04	270	0.00
計	143	0.38	3,358	0.09
町行政	34	0.09	5,580	0.15
町行政	80	0.22	4,462	0.12
計	114	0.31	10,042	0.27
その他	80	0.22	4,462	0.12
計	1,337	3.62	37,522	100.0

()内は52年分 赤池町公民館

欲しい町民総合体育館 指導者の育成が急務

指導者の育成と研修

自主的な団体活動の消長は、団体内のリーダーシップに左右されることが大きいのは、利用状況の分析で実証的に明らかるところであります。

また、良きリーダーの育成と共

に、そのリーダーを失わないことが重要であり、そのためには、指導者の育成と指導性向上のための研究、研修活動は不可欠の課題となります。この活動が不十分な場合、新たな指導者は育たないし、指導者である者も指導性の枯

渇衰耗によって、指導者の立場を離れていくことになり、団体活動は衰退の結果をみるようになります。

機関機能の活用

公民館が社会体育を担当するようになって、スポーツ振興協議会、体育指導員等の行政機関をはじめ、体育振興協会等の住民団体も所管するようになりました。劣弱な職員体制のもとでは、行政機関ばかりでなく、住民団体機関についても十分に尊重し、機関機能の活用をはかることによって指導体制の不備をカバーし、諸機関の運営の民主化を促進して、機関自体の機能と権威を高め、住民の信望を確保すべきと考えます。

また、機関構成員は例外なく指導者であり、その研修については前記ふれたとおりです。

施設整備が急務

総合グラウンドの建設により、施設の整備は著しく進んでいます。にもかかわらず、今日の最大の課題は専門施設としての町民体育館の建設であります。その理由は利用状況の分析で指摘したとおりです。とくに最近の行政指導による体力づくり、健康づくりの諸活動は、天候に左右されない体育館があつて、はじめて実効ある運動となるのであります。

次は、活動の多様化をすすめる場合、学習手段としての視聴覚器材の整備が重要になってきます。外部講師に多額の経費を要し、適任者の選択が思うにまかせない実情の中で、映像を通しての問題の提起と理解は、今日では常々の手法となっております。

これらの解決には高い政治判断と計画が必要となりますが、これに対しては、ねばり強く問題を提起していくべきであると考えます。

また、機関構成員は例外なく指導者であり、その研修については前記ふれたとおりです。

施設整備が急務

総合グラウンドの建設により、施設の整備は著しく進んでいます。にもかかわらず、今日の最大の課題は専門施設としての町民体育館の建設であります。その理由は利用状況の分析で指摘したとおりです。とくに最近の行政指導による体力づくり、健康づくりの諸活動は、天候に左右されない体育館があつて、はじめて実効ある運動となるのであります。

次は、活動の多様化をすすめる場合、学習手段としての視聴覚器材の整備が重要になってきます。外部講師に多額の経費を要し、適任者の選択が思うにまかせない実情の中で、映像を通しての問題の提起と理解は、今日では常々の手法となっております。

これらの解決には高い政治判断と計画が必要となりますが、これに対しては、ねばり強く問題を提起していくべきであると考えます。

春の園芸講習会

三月二十五日 町民会館

園芸同好会の四季会が町公民館と共催で、三月二十五日午前十時から町民会館で。町民多数の参加を歓迎します。受講料は無料。

人員でも延総人員の三六・一割で前年につづき第一位、体育活動の振興が着実に前進していることを示しています。

利用の時間帯は全体の二五割程度が昼間、他はすべて夜間となつており、指導、管理のための職員の夜間勤務の負担は、昨年同様軽減されていません。

五十三年の利用状況を、これからの公民館の指導、運営のあり方という視点から分析すれば、以下のことが指摘されます。(一)の稿、公民館発)

今後の課題

組織、運営の整備

活発なスポーツ活動など、行動を中心しながら育成されている地区公民館をはじめとする住民諸団体に組織と運営の両面から自発的に整備することを指導し、民主的に主体性のある団体への成長のための施策と研究を継続します。

活動の多様化はかれ

スポーツ活動や文化活動は、そ